

4月6日（金）始業式講話

みなさん、おはようございます。先日の離任式から皆さんとお会いしているわけですが改めて自己紹介をします。4月から本校の校長となった細野晃一です。私は、本校78回卒となる本校卒業生です。高校時代は陸上競技部に所属しており、部活動を中心にしながらも大学進学を目指して充実した生活を送っていたように思います。大学を卒業して高校の教員となりましたが、母校で教えたいという願いが叶い、平成11年から平成21年までの11年間本校でたくさんの良い思い出を作ることができました。今回の異動により幸運にも再び母校で仕事をするようになりました。よろしくお願いします。

始業式に当たり二つのことを話したいと思います。

一つ目です。皆さんに最初に申し上げたいのは「ありがとうございます」という感謝の言葉です。理由は先日の離任式における皆さんの態度です。約90分間、離任される先生方の話をしっかりと顔を上げて聞いていましたね。誰かに注意されることもなく、また私語を交わす生徒も見受けられませんでした。秋葉校長先生とも式の後に話したのですが、皆さんの参加態度が良いことを告げると、嬉しそうにうなずいておられました。ほかの先生方も気持ちよく本校を離れることができたと思います。ありがとうございました。



このように話すと、皆さんからは「それって当たり前のことですよ」という言葉が返ってきそうです。でも当たり前のことが当たり前にできるって本当はなかなかないことだと私は考えます。普通にあることが難しいことを「有り難い」といいます。有り難いことをしてもらったときの感謝を伝える言葉が「ありがとうございます」なのです。

皆さんに心がけてほしいのはこれからも当たり前のことを当たり前にできるようになることです。よろしくお願いします。

二つ目です。

離任式では、国府田先生の素晴らしい「為桜の丘」を聞くことができました。皆さんは「為桜の丘」の歌碑がどこにあるか知っていますか。

学校の敷地には至る所に歴史を感じさせるものがあります。自分の通っている学校をよく観察してください。視野を広く持って学校生活を送りましょう。

それでは「校訓の刻まれている石碑」はどこにあるでしょう。

校訓は5章あります。

- 一 心身を鍛練し、堅忍不拔の志気を修養すべし。
- 一 光陰を惜しみ、労働を辞せず、学習の務を尽くすべし。
- 一 質素儉約を守るべし。
- 一 長上を敬し、下輩を愛し、和楽を貴ぶべし。
- 一 規律を重んじ、以て公共の徳義を立つべし。

この内容を要約したものが綱領です。3つあります。

誠 実 剛 健 進 取

今年度も皆さんが下妻一高の校訓・綱領に基づいて学校生活を送れることを期待して始業式講話とします。

